

2015年8月号
日本基督教団聖教会
No.439 教会学校

いずみのひろば

「イエスさまを信じる」

ヨハネによる福音書4:43-54



イエスさまがカナと言う町にやってくる時、このことです。カナの町から少し離れたところにある

カファルナウムという町に住む役人が来ました。

その役人には重い病気がかかった息子がいました。

「イエスさまなら私の息子の病気を治してください

かもしれない」と考えたのです。この役人はイエスさま

に頼みました。

「イエスさま、あなたはどんな病気でも治してください

お方だとお聞きしました。実は私の大切な息子が病

にかかって一死にそうなのです。どうか私の家に来ていた

いて、私の息子を助けてください。」

イエスさまはこう言われました。「あなたは本当に、私が

病気を治せると信じているのですか？ 病気を治す



ところを見ないと信じられないのではないのですか？」

役人は、イエスさまの言葉に慌ててしまいました。

でも、もう一度「イエスさまを信じます。どうか

私の息子を助けてください。」とあきらめずに

お願いしました。イエスさまはその様子をこら

になり「帰りなさい。あなたの息子は一死ぬことは

ありません。」 役人はイエスさまのその言

葉に従って、何の証拠も手がかりもないのに

信じて帰って行きました。そして帰り着く

前に、息子が元気になったと知らせが届きました。

「神さまを信じる」ということは、この役人

の様に何の手がかりもないのに、神さまの言葉を

信じて従っていくことなのです。

そして喜びはきつとむこうからやってくる

後から恵みが与えられるのです。

(おはなし 森田裕子先生)

